



町長エッセイ



長かった梅雨も8月に入り、ようやく明けました。明けたとたんには今度は連日猛暑が続き、浜松市では17日に41.1度を記録し、2年前の熊谷市での日本一の暑さに並びました。

35度以上の猛暑日となる地点が増えたのは8月の半ばあたりからでした。天気予報の解説者によれば、太平洋と大陸から張り出す二つの高気圧が重なり合うからとのこと。これにより全国でも熱中症により病院に搬送された人は例年より多いようです。また、今年はコロナ禍と重なり、患者の症状が似て

いることにより判別がつきにくいそうです。

この暑さの中、ラジオ体操を実施した地区がありました。私も小中学校の夏休みに合わせ、短期間ではありましたが、今年も参加しました。朝から強い日差しでしたが、暑さに負けず、子どもから高齢者まで元気一杯に手足を動かしました。

松本恒夫